

チルチンびと

住まいは、生き方
文化のかたち

85 2015 秋

我が家の庭暮らし

松原正明 / 永田昌民 / 坂田卓也

麦のある風景 古川三盛
金沢・犀川マタギと山へ入る
新連載 建築社会関係資本論
第2回 吉田桂二賞発表

暮らしに農の風景を

農家カフェの畑とレシピ / 農の生け花
“用の美”の家庭菜園 / 菜園グッズカタログ
庭の効能を科学する——子どもの成長・香りの力

保存版 全国作庭家リスト

〔福岡県〕

性能と気持ちよさを両立する、パッシブな住まい

— 設計 ■ 江藤眞理子 / 空設計工房

福岡市郊外のゆったりした住宅地に建つ、お母さんと二人のお嬢さんのためのかわいらしい住まいです。お日さまの熱や光を大切に活用できるように、また夏の涼も考えた、パッシブデザインです。建物の性能と年間の消費エネルギーの基準をクリアして認定低炭素住宅の福岡市第1号を受けました。

薪ストーブを使いたいこと、お庭と菜園を南側に取ること、将来1階だけで生活がまかなえることが主な要件でした。また当事務所では、住まい手さんの健康と快適、建物の寿命、そして低燃費を実現するために、省エネルギー基準を超える建物性能を確保するのが方針です。そこを十分ご理解くださり、よけいな建物の大きさを望まれず、予算をこちらに配分することに快諾いただきました。

太陽の恵みを
生かしながら
夏も涼しく

太陽の熱を取り込むために、南側にできるだけ窓を設けました。しかし窓は熱も逃げやすく、夏

には外から熱が入ってきてやすいところ。窓の性能はもちろんよいものですが、断熱効果のあるブラインドを付けたら、夏の日差しや照り返しを遮る工夫もしました。1階南側の床は蓄熱効果を得るために土間仕上げに季節ごと、また昼夜の風向きを傾向を調べて、欲しい時期に風が家の中を通っていきやすいように窓の位置や種類を考えました。1階は玄関からつながる蓄熱土間と吹き抜けを持つリビング・ダイニングと、それにつながる小上がりキッチン。洗面脱衣室とクローゼットはまとめて身支度が1カ所のできるようにしました。2階は吹き抜けに面するフリースペース、お嬢さんの部屋、納戸という構成です。引越した当初から、「ずっと前から住んでいたような懐かしい感じ」という感想をいただいています。これはどの建主さんからもよく言われます。そして「帰ると安心する、帰りたくなる家」とも。お休みの日もほとんど出かけず、家で過ごす生活を楽しんでいるということです。



5

5: 吹き抜けがすがすがしいリビング・ダイニング。仕上げは木と紙と土。椅子に座るといつも空が見える。



1: 外観。軒と袖壁に囲まれた南側のみ板張り、ほかはガルバリウムスパンダレルZIG張り。掃き出し窓は可動ルーバー式の雨戸付き。
2: 玄関は蓄熱土間から同じタイルで続く。板張りの壁の奥は収納。
3: 板張りの小上がりはお母さんの寝室にも。4: 階段を上ったフリースペースには、ホームライブラリーコーナーも。梁にはステンレスパイプをつけて洗濯物の部屋干しに活用。

©空設計工房
福岡県福岡市早良区高取2-11-11-501
☎092-843-7782 <http://www.sola-web.com/>

施工= ㈱山川工務店
福岡県福岡市東区馬出2-2-11 ☎092-651-0672